



平成23年度政府予算案(肝炎対策関連)



厚生労働省 健康局 疾病対策課 肝炎対策推進室

肝炎総合対策の5本柱

平成23年度政府予算案

238億円(236億円)

うち特別枠分で

40億円

- | | |
|---|---------------------|
| 1. 肝炎治療促進のための環境整備 | 152億円(180億円) |
| ○肝炎患者支援手帳事業【特別枠】 | |
| ○地域肝炎治療コーディネーター養成事業【特別枠】 | |
| 2. 肝炎ウイルス検査の促進 | 55億円(26億円) |
| ○特定感染症検査等事業における出張型検診の実施【特別枠】 | |
| ○肝炎ウイルス検診への個別勧奨メニューの追加【特別枠】 | |
| 3. 肝疾患診療体制の整備、医師等に対する研修、相談体制整備などの患者支援等 | 7億円(8億円) |
| 4. 国民に対する正しい知識の普及啓発 | 2億円(2億円) |
| ○肝炎検査受検状況実態把握事業【特別枠】 | |
| 5. 研究の推進 | 21億円(20億円) |
| ○健康長寿社会実現のためのライフイノベーションプロジェクト(肝炎分)【特別枠】 | |

1. 肝炎治療促進のための環境整備 152億円 (180億円)

肝炎治療特別促進事業(医療費助成) 151億円(180億円)

B型・C型ウイルス性肝炎に対するインターフェロン治療及び核酸アナログ製剤治療への医療費助成を行う。

実施主体	都道府県
対象者	B型・C型ウイルス性肝炎患者
対象医療	<ul style="list-style-type: none"> ・ B型・C型肝炎の根治を目的としたインターフェロン治療 ・ B型肝炎の核酸アナログ製剤治療
自己負担 限度月額	原則1万円 (ただし、上位所得階層については2万円)
財源負担	国:地方=1:1
平成23年度予算(案)	151億円
総事業費	302億円

【特】肝炎患者支援手帳の作成・配布 0.5億円

B型・C型肝炎患者等に対して、肝炎の病態、治療方法に関する制度等を記載した「肝炎患者支援手帳」を作成・配布し、今後の適切な治療を促進する。



【特】地域肝炎治療コーディネーターの養成 0.7億円

市町村の保健師等に対して、B型・C型肝炎に関する既存制度の知識などを習得させ、肝炎患者等が適切な治療を受けられるようコーディネートができる者を養成する。



2. 肝炎ウイルス検査の促進

55億円（26億円）

● 保健所における肝炎ウイルス検査の受診勧奨と検査体制の整備 （特定感染症検査等事業）

- ・検査未受診者の解消を図るため、医療機関委託など利便性に配慮した検査体制を整備。

※ 緊急肝炎ウイルス検査事業の延長

【特】特定感染症検査等事業における出張型検診の実施 1億円

都道府県等が、保健所や委託医療機関で実施している肝炎ウイルス検査について、出張型の検査も実施することで、検査のより一層の促進を図る。



● 市町村における肝炎ウイルス検診等の実施（健康増進事業）

【特】肝炎ウイルス検診への個別勧奨メニューの追加 32.3億円

40歳以上5歳刻みの者を対象として、無料で検査を受けることが可能な個別勧奨メニューを追加し、検査未受検者への受検促進の一層の強化を図る。

3. 肝疾患診療体制の整備、医師等に対する研修、

相談体制整備などの患者支援 等 7億円（8億円）

● 診療体制の整備

- ・都道府県においては、中核医療施設として「肝疾患診療連携拠点病院」を整備し、患者、キャリア等からの相談等に対応する体制（相談センター）を整備。



● 肝硬変・肝がん患者に対する心身両面のケア、医師に対する研修の実施

- ・肝疾患診療連携拠点病院においては、肝疾患相談センターで肝硬変・肝がん患者を含めた患者、家族等に対する心身両面のケアを行うとともに、医師等の医療従事者に対する研修等を実施。
- ・肝炎情報センターにおいては、肝疾患に関する各種の情報提供、拠点病院の医療従事者に対する研修、その他の支援を実施。



4. 国民に対する正しい知識の普及啓発 2億円（2億円）

◎ 教育、職場、地域あらゆる方面への正しい知識の普及啓発

肝炎に関する正しい知識を国民各層に知っていただき、肝炎ウイルスの感染予防に資するとともに、患者・感染者の方々がいわれのない差別を受けることのないよう、普及啓発に努めている。

肝炎患者等支援対策事業(普及啓発部分) 0.9億円（1.8億円）

○ 自治体の普及啓発活動に対する補助事業

- ・ シンポジウム開催、ポスター作成、新聞・中吊り広告 等



【特】 肝炎検査受検状況実態把握事業 1億円

- ・ 肝炎ウイルス検査のさらなる受検促進を図るため、年齢や性別等の属性や、検査の受検状況等に関する実態把握を行う。

5. 研究の推進 21億円（20億円）

・ 肝炎等克服緊急対策研究事業 16億円（20億円）

「肝炎研究7カ年戦略」を踏まえ、肝疾患の新たな治療法等の研究開発を推進する。



【特】 健康長寿社会実現のための ライフ・イノベーションプロジェクト（肝炎分） 5億円

肝炎感染予防ガイドラインの策定等、肝炎総合対策を推進するための基盤に資する行政的研究を実施する。



元気な日本復活特別枠で確保した事業費分の再掲 (合計40億円)

◎ 国民生活の安定・安全の推進など、元気な日本を復活させるための施策に予算の重点配分を行う仕組みとして「元気な日本復活特別枠」を設定

1. 肝炎治療促進のための環境整備

- 肝炎患者支援手帳事業 0.5億円
- 地域肝炎治療コーディネーター養成事業 0.7億円

2. 肝炎ウイルス検査の促進

- 特定感染症検査等事業における出張型検診の実施 1億円
- 肝炎ウイルス検診への個別勧奨メニューの追加 32.3億円

3. 肝疾患診療体制の整備、医師等に対する研修、相談体制整備などの患者支援等

4. 国民に対する正しい知識の普及啓発

- 肝炎検査受検状況実態把握事業 1億円

5. 研究の推進

- 健康長寿社会実現のためのライフ・イノベーションプロジェクト（肝炎分） 5億円